能代市家庭教育通信 第16号

one



~ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ~

今年度のテーマは「子斉て」です

2014年12月

発行:能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne 人の中で人は育つ ~テレビで子育て~

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

1年生の中に、授業中突然教室を出ていく子がおりました。しかし、迎えに行くとおとなしく戻ってまた 学習に参加します。

私は持ち前の好奇心からその子によく声かけをして接触を試みました。そのうちあることに気づきまし た。私の問いかけに対するその子の返事が少し変だということに……。例えば「Aさん、今日朝ご飯食べま したか?」、返事「私の好きな漫画は××だよ」。「Aさん、勉強は何がすきかな?」、返事「夏は暑くて汗が 出るからいやだな」……。なんか変、会話しているようで会話になっていません。

やがてそのわけは、PTAの保護者面談で判明します。

その子のお母さんはとても忙しかったたらしく、幼児期の頃から、子どもには、ほとんどテレ ビやビデオを見せて過ごさせていたということでした。おとなしく見ているのでとても助かった といいます。私はそれまでの行動の謎が解けたような気がしました。Aさんはテレビで育ったよ うなものですから、私も、担任も、同級生も、みんなテレビと同じ存在で、対応も同じだったの です。テレビは、視聴者の気持ちには関係なく勝手に話し続けます。もちろん話しかけても、応 えてくれることはありません。ですから、いやになったり、飽きたら、スイッチを切るか、自分 が離れるしかありません。授業中、ふいと教室を出る (……自分から離れる) 。私の問いはテレ ビの音と同じだったのです。

会話も含めて人との関わり方等について、Aさんなりに理解 するまで3年の年月がかかりました。Aさんも、周りの人たち もとても難儀をしたことを思い出します。

家庭には、子どもの養護と教育の二つの役割があるといわれ ています。養護とは心と体の健康を守り、子どもに安心感をは ぐくむための関わりです。子どもをしっかりと抱きしめて、子 どもの存在を受け止めて、世話をすることです (母性的な関わ

り)。一方、教育とは、子どもが社会的な生活を営める自立した大人になるためにしつけをする ことであり、子どもの能力を最大限活かして生きていけるように援助することです。 他律から自 律へとつなげ、社会での自立を確立することです(父性的な関わり)。母性的な関わりと父性的 な関わりは一人でも可能なものですが、いずれにしても、子育てにおいては「人間的な関わりが とても重要なもの」ということは疑う余地がありません。「人は、人の中で人になる。」……手 をかけ、目をかけ、声をかける。子育ての基本はここだと思いますが、いかがでしょうか。



能代市立図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。

『一生役立つ「お金のしつけ」』たけやきみこ 著(メディアファクトリー)

年末年始は子どもがお金に接することの多いシーズン。こんな時こそ、子どもと一緒に「お金との付き合い方」について考えてみませんか。

本書では、おこづかいや貯金、お手伝いなど、毎日の生活で子どもに教えていく方法を紹介。エピソード・マンガ付きで読みやすい内容です。



Bi

データでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータをと りあげます。「今」がわかり、子育てのヒ ントになるかも?

① 子どもの社会性に関わる要因 ~テレビやゲームは本当に悪者?~

※ 表中記号 ○:正の関連性 ▲:負の関連性※ 記号が多いほど関わりが強い	協調性 共感性	能動性 自己主張
子どもの月齢	00	
兄・姉がいること	00	
親との関係		
母親が子どもに抱く信頼感	0000	0000
親がテレビ番組選択		
メディア接触時間		
テレビ視聴時間		
ゲーム接触時間		
生活時間		
外遊び時間		
読書時間	00	
子どもの遊び仲間の規模		
小規模		
大規模		
親しい友だちとの活動頻度		
おしゃべり		
マンガ・本		
テレビ・ビデオ・ゲーム・パソコン		
外遊び		0

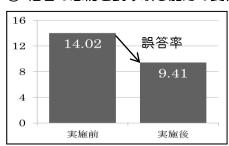
今回は「メディアと子どもの社会性」をテーマに、データを2つとりあげます。

左の表は、9歳の子どもとその家庭を対象に、子どもの社会性(他の子と協力できるか・自分から「遊ぼう」と言えるか等)と、テレビやゲームとの関連性を調べたものです。 9歳児にとって"安心できる親子関係"が最も強く関連していて、続いて"遊び仲間が少なくないこと"という結果でした。

逆の言い方をすれば、単にテレビやゲームを禁止すれば"安心"なのではなく、人と関わり合うことを大切にして毎日を過ごすほうが、子どもにとってずっと価値があるということだと思います。

※データは、論文『児童期の子どもの社会性に関わる要因の検討: 家庭内外におけるメディア生活に注目して』(2013 NHK"子どもに良い放送"プロジェクト第10回調査報告書 所収)をもとに編集したもの

② 他者の感情を読み取る能力の変化 ~コミュニケーション能力は「リアル」で育つ~



論文『Five days at outdoor education camp without screens improves preteen skills with nonverbal emotion cues』(2014 『Computers in Human Behavior』所収) より抜粋

アメリカ・カリフォルニア大学において、とある実験がおこなわれました。その内容は、6年生の子どもたちを50人くらい集め、5日間携帯電話やパソコン等の使用を禁止して野外キャンプに参加させ、キャンプ実施前と実施後で、他者の感情を的確に読み取る能力に変化がみられるかどうかを検証するというもの。左の表は、その結果です。まちがった割合(誤答率)をグラフにしています。

リアルな人と人との対話のなかで育っていく"力"が確実にある… …「人の話を聞くときは、ちゃんと目を見て」なんて、昔からよく言われますが、科学的にも根拠がありそうですね。

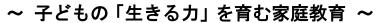
いよいよ年末年始……心にのこる「年中行事」を

いよいよ「冬到来」と思ったら、あっという間に年末年始の時季です。 大掃除や年越し、年始のごあいさつなど、年中行事は子どもの心にのこるも の。どうぞ、あたたかで和やかな年末年始をお過ごしください。 乳児は 肌を はなすな 幼児は 手を はなすな 少年は 目を はなすな 青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。 能代市教育委員会 教育部生涯学習·スポーツ振興課 〒018-3192 能代市二ツ井町字上台 1-1

能代市家庭教育通信 第17号

y one





2015年3月

今年度のテーマは「子育て」です

発行:能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne Column 子育ての基本

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

○ 三つ子の魂百まで

「三つ子の魂百まで」という古くからのことわざがありますが、3歳までの時期が人間の成長 において重要な期間であることは、脳科学や精神医学の観点からも確認されています。脳科学で は、幼児期における神経回路の形成は、外界からの刺激によって促進されることが判明していま す。この時期には、養育者との安定した結びつきがとても大事です。なぜなら、人間そのものに 対する基礎的な安心感と信頼感が育つ時だからです。

○しっかり抱いて、下におろして、歩かせる

子どもは、親に甘え、依存し、やがて反抗期を経て、自立していきます。こ のプロセスを、日本人は「しっかり抱いて、下におろして、歩かせる」という 言葉で表しました。子どもの発達段階に応じた親のかかわり方をうまく言い表 していると思います。「しっかり抱いて」とは、親に甘えて依存するという、 親子の「愛着」形成の重要性を表しています。「下におろして、歩かせる」と は、愛着からの「分離」を意味しています。子どもは、あたたかく守られた場 所から出て、自分の力で歩いていかなくてはなりませんが、そのためには母性 原理の「愛着」を断ち切る父性原理の「分離」が必要になります。



○守・破・離の精神

茶華道・武道など日本伝統の諸道では、ものごとを学び初めてから独り立ちしていくまでを、 「守」「破」「離」という言葉で表していますが、これを家庭教育にあてはめてみましょう。

親は、子どもが産まれると、様々な機会を通して子育ての基本を学び、一生懸命わが子を育て ようとします(子育ての基本を学ぶ「守」の段階)。やがて、わが子に合わせて、あるいは、わ が家の価値観にそって、自分なりに工夫して育てていこうとするでしょう (基本を応用しながら 自分なりの工夫をしていく「破」の段階)。そして、わが家独自の子育て観を確立していきます (学んだものを発展させ、独自の世界を作り出す「離」の段階)。

しかしながら、千利休も歌として残しているように(「規矩作法 守りつくして破るとも 離る るとても 。本を忘るな」)、忘れてならないのは、基本に戻る気持ちです。基本を忘れた子育て は、独善的なものになりかねません。子どもへの愛情、家族の絆、社会規範の周知等々「しっか り抱いて、下におろし、歩かせる」といった、子育ての基本を忘れないようにしたいものです。



能代市立図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。

『生きる力ってなんですか?』おおたとしまさ 編(日経 BP 社)

わが子に身につけてもらいたい「生きる力」――でも「生きる力って何?」 と聞かれたら、あなたは答えられますか? この本では、さまざまな分野で活躍 する7人が「生きる力」について語っています。

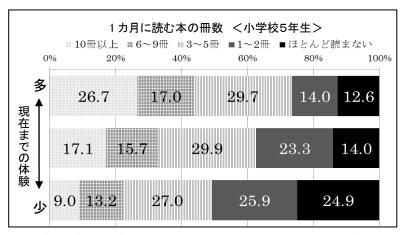
子ども向けの説明と大人用の解説に分かれているので、親子で読める1冊です。



(データでみる家庭教育)

子育てや家庭教育に関するデータをと りあげます。「今」がわかり、子育てのヒ ントになるかも?

体験の豊かさと本を読むことの関係 ~ 世界を広げていくチカラ ~



(独)国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書(平成22年度)より

左の表は、幼少期から調査時点までどれくらい体験をしてきたかという調査と、1カ月あたり何冊本を読んでいるかという調査をクロス集計したものです。

小学校5年生というのは、本をたくさん読む時期でもあるのですが、その「読みたい」という気もちの背景に、豊かな体験があることが、データから見てとれます。

五感で感じる体験活動が、小さな子ど もにとっていかに重要かを考えさせら れます。

ひとこと@家庭教育関係講座

能代市教育委員会では、家庭教育関係講座を実施していますが、その中から心にのこるひとことをご紹介します。

誰かのことを心配できる、それが「前向きに生きる」ということです。 みなさんは、ひとりで生きているわけではない。身近な人ときちんとつながっている……私たちが一番幸せを感じられるのは、そんなときです。

あなたは誰と一緒に生きていきますか? あなたは、誰のために生きていきますか? 今、あなたのために生きてくれている人は、誰ですか? そして、今、一緒にいる人のために、あなたは何ができる? 学校のために、家族のために、地域のために、何ができる? これを考えることが、前向きに生きることです。

(秋田大学大学院医学系研究科 准教授 佐々木 久長 氏 「前向きに生きるために~辛さを乗りこえるコツ~」より)



雪解け、春を迎えるよろこび

3月。山々が、芽吹きの春へとスタンバイする時期です。卒業式や入学の準備、 新学年の準備など、何かと気忙しい時期ですが、ほんのちょっとだけ、ひと息ついて、子どもと一緒に季節の移り変わりに目を向けてみましょう。 乳児は 肌を はなすな幼児は 手を はなすな少年は 目を はなすな青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。 能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市二ツ井町字上台 1-1

能代市家庭教育通信 第18号

Only one

~ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ~



今年度のテーマは「子育て」です

発行:能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne Column

悩みの種……叱り方 その①

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

子育ての悩みのひとつに「叱り方」があると思いますが、今回はついつい多くなってしまう「叱ること」についての情報(その①)を提供したいと思います。

1)~なぜ叱る~

子どもは、いろいろなことを覚えながら大人になっていきます。はじめから分かっているわけではありませんので、たくさん失敗もします。一方、大人に来た道ですから、分かっていることのほうが(子どもよりは)多いものです。その結果「なぜ分からないの」と思ってしまいます。これが「叱る種」のひとつです。「あんなに言ったのに」、「いつも言っているのに」……と。



2) ~叱るときの悩み~

叱るときの悩みについて保護者の皆さんにお聞きすると

・イライラしてしまう。・言い過ぎて自己嫌悪に陥る。・お互いに感情的になってしまう。 ……などが多いようです。

3) ~効果的な叱り方とは~

叱ることなく子育てができればいいのですが、現実にはなかなか難しいものです。今回は、子どもの心に響き、そして保護者の心に優しい (上記のような悩みが軽減される) 効果的な叱り方を紹介したいと思います。

①今を叱る(昨日も、一昨日も……。)

<u>叱るときは、できるだけ即座に……。</u>過去のことを付け加えても効果はないと考えたほうがよいでしょう。できるだけ的を絞って叱ります。これは、叱るほうの怒りのスイッチを押さないためであり、イライラ防止のためでもあります。

②目の前のことだけ(片づけも、着替えも、ご飯も……。)

今、目の前で起こったことだけに絞って、叱る。あれもできなかった、これもだめだったと付け加えていくと、叱るために叱るようになってしまい、後で、自己嫌悪に陥ってしまいます。

③子どもの「行為」を叱る(人格を叱るのは……。)

失敗した行為を叱る。どうしてそうなったのか、どうすれば良かったのかを考えさせるような叱り方をしましょう。「おまえはバカだ」、「だめな子だ」などは禁句です。子どもは失敗しながら学んでいくものです。結果だけを叱ると学びに対して消極的になってしまいます。学ぶことをやめたら、成長はのぞめません。

~ 叱るときはできるだけ「冷静に」を心がけましょう・・~



能代市立図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。

『「メシが食える大人」に育つ子どもの習慣』高濱 正伸/著(KADOKAWA)

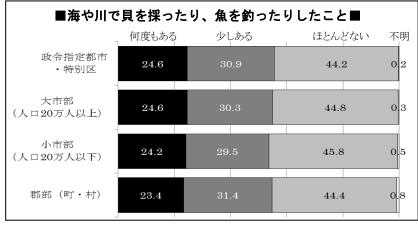
「すぐに折れない心」を子どものときから育てるための31の習慣が、具体的に紹介されています。4コママンガとともに楽しく読めて実践しやすい内容です。 わが子には自立した大人になってほしいけど、実際どうすればいいのかわからない……そんな悩みに応える一冊です。



しず データでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータをと りあげます。「今」がわかり、子育てのヒ ントになるかも?

① 都市規模と自然体験の頻度 ~「いなか体験」って何だろう? ~



(独)国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度調査)報告書より

左の表は、青少年が居住する都市の規模と、自然体験の頻度の関連性を調査したものです。ここでは「貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと」という項目をとりあげましたが、他の項目でも同じような結果で、都市の規模による差は、今はほとんどみられませんでした。

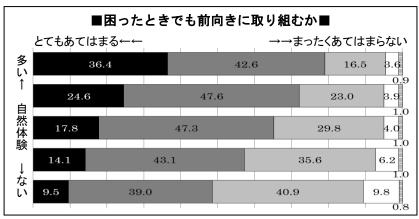
現代は、たとえ自然が豊かな地方に暮らしていても、子どものふだんの生活や遊び場とは切り離されてしまっていて、「あえて体験する」必要があるのかもしれません。

② 自然体験によって育つもの ~ 自然体験の頻度と「困ったときでも前向きに取り組む」意識の関係 ~

さて、それでは自然体験によって、子 どものどういった面が育まれるのでしょ うか? 右の表は、自然体験の頻度と意 識・習慣との関係を調べたものです。

自然体験を多くおこなっている子どもは、傾向として、「困ったときでも前向きに取り組む」「わからないことは、そのままにしないで調べる」など、課題解決にむきあう意識が強いという結果でした。

思いどおりにならないからこそ、自然は最高の教材だといえるのでしょう。



(独)国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度調査)報告書より

小・中学生は、いよいよ「夏休み」です!

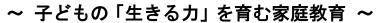
お父さん、お母さんの「夏休み」の想い出は何ですか? 楽しかったこと、嬉しかったこと、おもしろかったこと……自分が子どもだったころを振り返ってみて、この夏の想い出づくりに役立ててみましょう。

乳児は 肌を はなすな幼児は 手を はなすな少年は 目を はなすな青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。 能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市二ツ井町字上台1-1

能代市家庭教育通信 第19号

Only one







発行:能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne Column

悩みの種……叱り方 その②

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

前号に続いて、「叱ること」についての情報(その2)を提供します。

~��り方の秘訣 (効果的に叱るために) **~**

①実現可能なことしか言わない

子どもを叱っていると、ついつい言うことを聞かせようと大げさなことを付け加えからですが、これは逆効果です。例えば、後片づけをしたがらない子どもに「片づけないなら、おもちゃは捨てるよ」とか、好き嫌いのある子どもに「そんなに好き嫌いするなら、もうずっとおやつは無しです」など。実行できれば効果はありますが、たいていは実行できません。子どもはその時は大変だと思っても、たび重なると、「なんだ、言うだけか」と悟ってしまいます。 EX「片づけないなら、明日はおもちゃ遊びは無しです」

②関連のあるもので反省させる

「テレビを消して先に宿題をやりなさい、すぐやらないと夕ご飯は抜きよ」……テレビ→ご飯のように自分がやったことと関係のないものを取り上げられると、子どもは、それを「罰」と感じます。すると、その時点で、素直に受け止められず、反抗心が出やすくなるので、言うことを聞かなくなります。従ってなるべく同類のものを組み合わせることがコツとなります。EX「テレビを消して、先に宿題をやりなさい。

すぐにやらないなら、食後のテレビは無しよ」 (テレビ→テレビ)

③すぐに行動に移す

「○○しなさい、やらないなら△△だよ」の○○が守れなかったら、すぐに△△に移ります。この「すぐに」が学習効果を高めますので、割り切って実行に移す気持ちが大事です。実行すると、子どもも抵抗感を感じることでしょう。そして「今回だけ、お願い」と言ってくるでしょう。でもグッと我慢。「次の時には、1回で聞くようにしなさい」と次回へのがんばりを促し、妥協はしません。「じゃ、今回だけよ」をやってしまうと「ゴリ押しすれば何とかなる」と学習してしまい、一貫性が崩れてしまいます。すぐに行動を起こすことで、その時は子どもとの関係を損ねることになるかもしれませんが、それは一瞬の通過点です。いったん、きちんと言うことを聞く仕組みができれば、その後、親子共々とても楽になります。

叱るときは感情に流されず、

子どもの将来を見据えた叱り方をしたいものです。



能代市立図書館所蔵の「子育て・家 庭教育に関する本」のなかから、司書 選りすぐりの1冊をご紹介します。

『しばわんこの和のこころ』シリーズ 川浦 良枝/絵と文(白泉社)

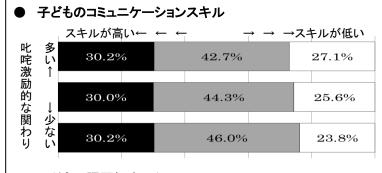
柴犬の「しばわんこ」と三毛猫の「みけにゃんこ」が案内する、「和」の世界へ ようこそ! 季節ごとの行事の由来や意味、おもてなしの心を親子で学べる一冊 です。かわいいイラスト付きで、日本ならではの暮らしのたのしみや、和の作法 について、子どもでも理解しやすくなっています。お正月中にどうぞ。



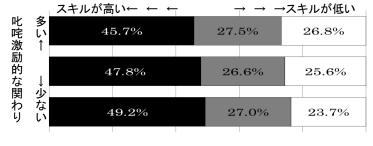
-タでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータをと りあげます。「今」がわかり、子育てのヒ ントになるかも?

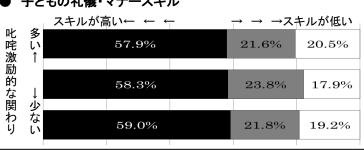
「��咤激励」的な関わりと子どもの生活スキルの関係



子どもの課題解決スキル



● 子どもの礼儀・マナースキル



左の表は、保護者の「��咤激励」的な関 わりが、子どもの生活スキル習得にどう影 響するかを分析した結果です。

ここでいう「叱咤激励」的な関わりとは、 「よく"もっとがんばりなさい"と言う」 「よく小言を言う」「しっかり勉強するよ うに言う」「子どもと意見が違うとき、親 の意見を優先させる」など。調査対象は、 小学4~6年生とその保護者です。

生活スキルのうち、コミュニケーショ ン、課題解決、礼儀・マナーの3つを取り 上げましたが、いずれも保護者の「叱咤激 励」的な関わりと子どもの習得レベルに は、何の関連もないことがわかりました。

大人はついつい「できないこと」「やら ないこと」に目を向けて、それを言葉だけ で解決しようとしますが、経験の少ない子 どもの立場にしてみれば、「そんなこと言 われても……」と、どうすれば良いのかわ かりません。

「やってみせ、言って聞かせて、させて みせ、ほめてやらねば人は動かじ」「話し 合い、耳を傾け承認し、任せてやらねば、 人は育たず」……有名な山本五十六の言葉 ですが、改めて「生きる力」を育むために は何が必要かを考えさせられます。

(独)国立青少年教育振興機構「『子供の生活力に関する実態調査』報告書」(平成25年度調査)報告

年末年始は、家庭教育の大チャンスです!

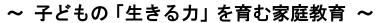
年末の煤払い、年越し、年始のあいさつ、おせち、小正月行事など……年末年 始は特別な雰囲気がありますし、何より家族の時間がゆっくりとれます。ぜひこ の機会に、親子で一年の目標を考えてみましょう。

乳児は 肌を はなすな 幼児は 手を はなすな 少年は 目を はなすな 青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。 能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市二ツ井町字上台 1-1

能代市家庭教育通信 第20号

one





2016年3月

今年度のテーマは「子育て」です

発行:能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課



OnlyOne ほめて伸ばす

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

子育てにおいてほめることと叱ることは、車で言えばアクセルとブレーキのようなものです。良 いところをほめて伸ばすこと(アクセル)、いけないところを叱って制御すること(ブレーキ)が バランス良く行われることで、子どもは順調に育っていくものだと思います。

ひと昔前まで、日本の子育ては叱ることのほうが多かったようですが、近年はほめる子育てが主 流になってきています。いろいろな考え方があるとは思いますが、叱るよりほめるほうが子どもに とっても親にとっても、心地良いものであることは間違いありません。気持ちよく子育てができ る! いいことですよね。

○子どもをほめることで得られる3つの効果

ほめる子育てには、子どもをプラスに導く大きなパワーがあるようです。

- ①子どもが自信を持つようになる
 - ……いつもそばにいて、一番信頼している親にほめられることで、 「やればできる」という自信を持つようになります。
 - ②自己肯定感がはぐくまれる
 - ……親にほめられることで「自分は価値ある人間だ」「自分は大切 な存在だ」という自己肯定感が育ちます。
 - ③意欲的に行動できるようになる
 - ……ほめられることで、子どもは意欲的に行動できるようになっていきます。

★ほめる種

ところで、子どもをほめるためにはほめる種が必要ですが、この種は、子どもをよく見ていない となかなか見つからないものです。時々、(謙遜だとは思いますが)うちの子にはほめるところが あまりないという親御さんがおりますが、アンテナを高くして欲しいものです。見ようと思えば、 たくさん見えてくるものです。

★心に届くほめ言葉

心の状態というのは顔の表情や喋り方、仕草など、色々なところに現れるもの。心で思っていな いのに、ほめたら良いということでほめ言葉を言ったとしても、子どもは親の心を敏感に感じ取り ます。ほめるときは、喜び・愛情を持って心からほめることが肝要です。

★子育ては、ほめて叱って

子育てにおいて、ほめっぱなしや��りっぱなしは、良くありません。子どもをよく見て、上手に ほめ、時々は叱って、いい子に育てる。このバランスが大事です。できれば、ほめることの多い子 育てにしたいものですね。





能代市立図書館所蔵の「子育て・家 庭教育に関する本」のなかから、司書 選りすぐりの1冊をご紹介します。

『子どもを本嫌いにしない本』 赤木かん子/著(大修館書店)

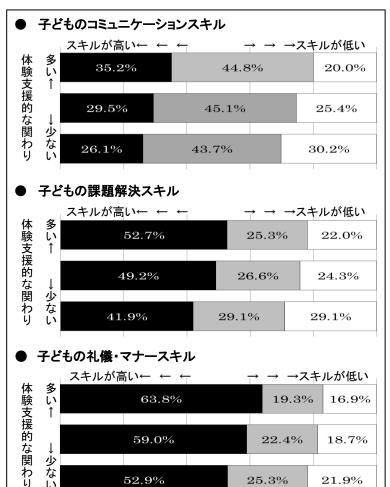
もともと本嫌いな子はいないし、本嫌いに育てたい親はいないのに、なぜ読ま なくなるのでしょう? この本は、赤ちゃんから高校生になる頃までの、子ども と本との関係についてまとめた「ずっと、本を好きでいてもらうため」の指南本 です。百科事典などの使い方のほか、年代ごとのおすすめ本も掲載しています。



-タでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータをと りあげます。「今」がわかり、子育てのヒ ントになるかも?

「体験支援」的な関わりと生活スキルの関係



前号で「叱咤激励」的な関わりと子ども の生活スキル習得との関係を取り上げま したが、では、どうすれば子どもの生活ス キルは伸びていくのか? そのヒントを 得るため、今号では「体験支援」的な関わ りとの関係を取り上げます。

ここでいう「体験支援」的な関わりとは、 「勉強以外の様々なことをできるだけ体 験させている」「子どものやりたいことを 尊重している」「子ども自身でできること は、自分でさせている」「スポーツ以外の 趣味を一緒に楽しんでいる」「家の中でル ール・約束事を決めている」「よくほめて いる」など。いずれも、そういった関わり が多いほど、子どものスキルが高い傾向に ありました。

「体験支援」と言われると、つい「とに かくいろいろ体験させれば良い」と考えて しまいがちですが、その根底には、子ども の「やってみよう」という気持ちと、親の 「必ずできるようになる」という信頼が欠 かせません。そして、できたら「ほめる」

「体験」の芽は、家庭の中にも、地域の 中にもあふれています。子どもに「やって みる?」とひと声かけてみませんか?

(独)国立青少年教育振興機構「『子供の生活力に関する実態調査』報告書」(平成25年度調査)報告

25.3%

4月は「はじまり」のとき

52.9%

私たちの社会的生活のはじまりは「4月」です。入学式あり、クラス替えあり、 学年も1つ上がり、いよいよ新生活がスタートします。

新しい生活のこと、子どもとの会話を存分に楽しみましょう。

乳児は 肌を はなすな 幼児は 手を はなすな 少年は 目を はなすな 青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。 能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市二ツ井町字上台 1-1

TEL:0185-73-5285 / FAX:0185-73-6459 / E-mail:shou-supo@city.noshiro.akita.jp

21.9%